

令和三年度 副学長と全代会との懇談会 議事録

[日時]2021/12/1

[場所]本部棟 8 階特別会議室

[会議の流れ]開会→副学長挨拶→全代会議長挨拶→令和 3 年度全代会活動中間報告→話題
→統合報告書 2021 説明→閉会

開会

副学長挨拶

◆副学長(学生担当)

本日は懇談会を楽しみにしていた。

コロナウイルス感染対策に関して、筑波大学も夏にピークを迎えたが、皆さんの協力のおかげで大学をロックダウンせずに済んだ。御礼申し上げたい。

(今日多く来ている)2 年生はコロナで大変だったが、最近では学園祭、スポーツ・デーが開催できたなど、限られた状況の中で進めていく力があるので期待している。

本来は食堂でやっていた懇談会であるから、リラックスして有意義なものにしたい。

全代会議長挨拶

◆議長

昨年ではできなかったが今年ではできたことを嬉しく思う。

学生が興味を持っている内容なので活発な議論を期待したい。

令和 3 年度全代会活動中間報告

話題

A 福利厚生事業に関して

話題説明

◆副議長

◇話題の背景と経緯に関して

アンケートで、福利厚生事業者の相次ぐ撤退に関する意見が多かった。また、学生と教職員で意見交換が充分でないことから、見直すべきという意見があった。

◇提案①

議論の機会が少ない、福利厚生委員会の議論が届かないそのため福利厚生委員会の活発化を目指したい。学生委員の任期が 2 年であることが問題であると考えられる。学生委員としての形骸化、全代会の生の意見が反映しづらい状況。任期を 1 年にとしてしまい、全代会と福利厚生委員会とのつながりを強めてほしい。これによって、全代会での意見を直接吸い上げることが可能になる。

◇提案②

生協の設立が一部 SNS 等で話題に上がったので話題として提供する。メリットとして、低価格化、サービスの拡充などがある。一方、大きな障壁として、黒字経営が前提であること、加入率が高くないといけないこと、生協の運営人員の年毎の確保が必要、などがある。

生協アンケートに関してのデータは資料を参照されたい。生協におけるニーズによるサービスの拡充は魅力的だが、生協がないのが筑波大学の独自性という声もあって、検討したい。

情報提供

◆副学長(学生担当)

福利厚生委員会にかつて加わっていた。以前、第一エリアの喫茶エリアに何を入れるかを議論した。委員会で回転寿司と決まっていたが、調査などの結果、実現しなかったことがある。福利厚生委員会で活発な意見交換を行っていた。自由な意見を出せる会だったという印象。委員会の設立趣旨と組織については資料に代える。福利厚生委員会は堂々と意見交換できる場所。生協にするのは一つだが、現状のものを改善していくのもいいかもしれない。苦しい状況の学食にあえていくなどいろいろ方法があるかもしれない。

◆学生生活支援室長

生協については、筑波大学でも約10年前に導入の議論があった。(資料参照) 設立からの所要時間は1年3か月ほどではないかと見込まれていた。大学生協は組合員が出資し、利用、運営を行うものである。大学生協に関して、黒字の代表が書籍、赤字事業は食堂等が多い。

独自ルートで廉価に提供できる。大学生協と厚生会を比較すると、それぞれいい点がある。加入していなくてもサービスが受けられる、会費が不要などの点で、生協でない方のメリットもある。引き続き検討していく、という考えではあったが、震災直前の検討であって、震災によりこれらが凍結してしまった。

意見交換

◆学生

学内の物をみんなで買ってあげるといいのではないかとおっしゃったが、教科書は必需品な中で、送料千円というのは厳しさがある。この中で支援はいかがか。

◆副学長(学生担当)

厳しいのは承知している。浪費でなく投資としてするのはいいのではないか？

◆教職員

高いとは思いますが、そこを大学として支援するというのは厳しいと考える。

◆副議長

副学長(学生担当)へ

学生の街として、スーパーやカフェを大学内に導入してきた。今後の展望を伺いたい。

◆副学長(学生担当)

現在の在学生のハッピーな生活を主に考えたい。筑波大学を選んでくれる高校生、浪人生、留学生などがある。宿舎のリニューアルを検討しており、意見を聴取しようとしている。大学側でなく、学生の希望を聞いていく方向性でいきたい。宿舎も40年たっており、見直す時期に来ていると認識している。

◆教職員

福利厚生委員会に関して、年何回開くとかいう決まりはない。全大会の要望があればいつでも開くことは可能である。

◆副学長(学生担当)

全大会から副学長に要望していただいて、このような機会をもっと増やしてもいいのではないか。

◆学生

福利厚生委員会の任期について、全代会から選出の構成員に関して、やはり全代会とのつながりが少ない。また(現行の)3,4年生の委員は学内のことより、就活や卒論など自分の将来のことが気にかかるため学内を改善するインセンティブが多くない。任期はやはり1年が良いと考えられる。

◆教職員

これまで運用として、辞任をして後任があとを継ぐというようなことをしていた。こういった運用がコロナ禍で引き継がれなかった懸念がある。この運用でも良いが、福利厚生委員会の規則は学内のルールであるから変更は可能である。

◆副学長(教育担当)

このまま終わるとまずいのではないかと、きちんと変えてしまった方がいいのではないかと。

◆教職員

この運用でも良いが、これは学内のルールであるから変更は可能である。変えていくような方向性で行きたい。

◆副議長

任期を1年とする話は本会議等を通していないので(全代会の)総意というようには言えない状況。今後本会議などを通して改めて提案していく。

B 授業形態に関して

話題説明

◆副議長

◇現状

各学類で差があり、オンラインがメインであるが、ワクチンなどによって対面に戻りつつある。春のアンケートによれば、オンデマンドが望ましいという意見が多いが同時に対面授業も望まれている。

意見交換

◆副学長(教育担当)

現状、授業形態の対応レベルは、「注意して対面、オンラインも併用で」となっている。現状対面が難しいのは教室の使用定員が主な原因である(30%しか入れない)。タイミングを見て50%に上げようとしていたところでのオミクロン株の状況が発生した。オミクロン株へのワクチン抑制がどのようになるか、3回目のワクチン接種の状況も見て(職域接種は決定)、対面授業をだんだんと増やしていきたいと考えているが、オミクロン株に対して様子を見たいという状況である。対面実施率については学類によって大きく異なる。

◆副議長

私の所属する学類では対面授業が現状ほとんど無いような状況であるため、増やしてほしい。

◆副学長(教育担当)

大学本部に伝えるのと同時に、各学類に直接連絡をしてみるのも方法としてとってほしい。

◆学生

筑波大の KdB で、科目検索の際、授業の方法等の情報が出るが、授業の形式(対面・オンライン) が書かれておらず、迷ってしまう場合がある。担当教員との情報共有にも関わる場合もあると思うが迅速に対応してほしい。宅通のため非常に困っている。早めにシラバスを最新のものにしていただくことを要望をしたい。院生として対面授業は増やしてほしい。少人数でのゼミ等は対面では討論も活発になる。

◆副学長(教育担当)

大学として少人数のゼミの対面活動を禁止したということはない。担当教員に直接言ってほしい。KdB の見直しに関しては現在検討会議を設置するための準備を行っている。シラバスの公表については、2月にシラバスを出し、その後変更がある場合は manaba で変更の連絡を送っているといった状況。最初から計画できるものはシラバス上で行うようにしているが、そうでない場合は manaba で変更情報を送っている。KdB を毎日更新は正直なところ厳しい。履修申請した人には伝えられるが、履修を迷っている人に対しての方法を検討したい。

◆教職員

KdB の授業の形式に関しては、対面授業・オンライン等どれかを選んで表示するよう通達している。実際に多くの科目で表示がされている。また、manaba を中心に随時学生には連絡をするようにしている。今後使いやすいような形態を検討していきたい。なぜ同時双方向が嫌われているのかは調査中である。

◆学生

同時双方向に出席しづらい、発言にハードルがある。
オンデマンドだと、止めて戻ることができるためやりやすいとの意見。

◆教職員

オンデマンドだと注意がいかない場合があるのではないか。

◆学生

学類ごとに学生控室などがあるが、声を出せるかを聞きたい。声を出せる教室の確保、周知をお願いしたい。

◆副学長(教育担当)

Wi-fi 環境がない場合に貸し出すなど、環境のない学生のための情報の周知も連絡している。

◆副学長(国際担当)

環境が整ってないというのは、例えば、1限対面→2限双方向などのことか？

◆学生

そう。声を出せるかどうか、といったもの。

◆学生

(福利厚生事業者に絡めて。)

福利厚生事業の利用者の減少が、撤退の最大要因。対面授業がより多くなれば根本的な解決策となりうるのかもしれない。対面授業をやってくれというアナウンスをしているのか。

◆副学長(教育担当)

対面授業をしてくれという要請はしていなかった。(自身が医学系であり対面授業の割合が大きい)対面授業の全くない学生の話聞いてあれと思った。1つの科目で対面とオンデマンド授業との併用のような、新しい形を検討したい。

◆教職員

実験・実習、実技等、手や体を動かして実施する授業等対面による実施が望ましい授業については対面による授業を実施するよう要請しているが、基礎的な知識定着を主な目的とする授業等オンライン授業が望ましい科目もある。声を出す科目に対しても配慮をお願いしているがなかなか場所の確保が難しく苦慮している。

◆教職員

図書館に少ないながら個室を作ろうとしている。できたら活用してほしい

◆副学長（教育担当）

Twins と manaba の連携をしたいが manaba は教育担当の管轄下がないという話がある。明日以降、担当とその話し合いをもつ予定である。

◆副議長

アンケート結果に関して、これらはクラス代表者会議が送っているが、それに問題があって、メーリスを貸してくれないなどの問題がある。学類長の皆さんはご一考お願いしたい。

統合報告書 2021 説明

学生生活支援室長挨拶

◆副学長(学生担当)

いろいろな問題が出たがまだ結論の出てないものが多い。お互いに知恵を出してより良くしてほしい。意見交換の機会をもっと設定してほしい。

◆学生生活支援室長

時間が短いのが残念だが、昨年できなかった懇談会が今回できたのは良かった。議長団とはランチミーティングしているが、その他さまざまな機会でいろいろな学生とも交流を進めていきたい。

閉会

以上 総務委員会 荒金志紀 作成